

エリザベト音楽大学
大学院音楽研究科

教職課程（中・高）
履修の手引き

【2023 年度版】



エリザベト音楽大学
Elisabeth University of Music

目次

I. はじめに	2
(1) 本大学院の教員養成における目標	2
(2) 教職課程で学ぶにふさわしい学生像	2
(3) 育成を目指す教師像	3
(4) 履修における注意事項	3
(5) 教職課程に関係する各年次の主要行事予定（2023年度）	4
II. 教職課程の履修	6
(1) 本学大学院において取得可能な教育職員免許状	6
(2) 教育職員専修免許状取得の条件	6
(3) 履修上の注意	9
(4) 履修費用と履修手続き	9
(5) 教育職員免許状申請	9
III. 教職キャリア支援	10
(1) 教員採用試験等（公立・私立）	10
(2) 学校支援ボランティア、プレ・インターンシップ、教職学習室	11
(3) 教員採用試験対策	11

I. はじめに

(1) 本大学院の教員養成における目標

中四国において数少ない音楽を専門とする本大学院は、教育の理念を「教養・実力・慈愛のある音楽家の育成」に置き、専門的な知識・技術や芸術表現における豊かな経験値と、教育の場で地域の芸術とりわけ音楽文化の進展に寄与する力を身に付けた人材を育てることを目的としている。本大学院の教職課程は、これを踏まえ、音楽教育の実践を広く行なうことの可能な人材の輩出を目指し、教員養成における以下の目標を掲げている。

- ・ 音楽教育に活用できる専門的知識と高度な表現技術を備えた教員の養成につとめる。
- ・ 生涯にわたって芸術とりわけ音楽文化を愛好する心情を育てる教育の展開に必要な、確かな資質・能力をもつ教員の養成につとめる。
- ・ 高い倫理観と人権意識を基盤とし、世界の多様な音楽文化への深い理解をもった、質の高い指導力を発揮する教員の養成につとめる。
- ・ 本学の教育の根幹となるキリスト教精神に基づき、教育的愛情と誠意ある行動をもって音楽教育をとおして世界の平和に貢献できる教員の養成につとめる。

(2) 教職課程で学ぶにふさわしい学生像

- ・ 中学校一種免許状（音楽）・高等学校一種免許状（音楽）を取得している。
- ・ 本学大学院のアドミッション・ポリシーに沿った音楽の基礎的な知識理解と実技能力を備えている。
- ・ 専門的な知識の定着とその活用を目指し、確かな演奏技術や表現力の向上に向けて、主体的な音楽研究活動に取り組むことができる。
- ・ 世界の多様な文化の受容と理解に積極的であり、とりわけ音楽芸術への深い探究心をもっている。
- ・ 音楽教育をとおして、社会そして世界に貢献する意欲をもっている。

(3) 育成を目指す教師像

- ・ 大学院で培った研究、創作、実技能力を十分に発揮、活用できる専門性の高い教授能力を備えている。
- ・ 芸術（音楽）教育を展開し、豊かな人間性を育てる教育力を備えている。
- ・ 社会において音楽が果たす役割を深く理解し、新たな音楽文化芸術の創造、次世代に続く音楽芸術文化の継承とその進展に寄与する人材を育てる力を備えている。

(4) 履修における注意事項

教職課程の履修は、大学内の授業のみで完結するものではありません。大学外の様々な方と接する機会も数多く設定されており、社会人としての自覚を持ちながら、より深い音楽の専門性の追求をしていく姿勢が求められます。下記の内容を良く読み、自主的に深い学びを進めてください。

- 教員としての適性が常に問われていることを自覚し、受講態度、事務手続き、評価物の作成等も、「わたしが教員だったら」という立場を想像しながら行ってください。
- 教職に関する連絡は、学内ポータルサイト「イーチ」をとおして行われます。定期的にイーチの掲示板を確認してください。

教職課程に関する問い合わせ：

教職課程全般：教職・教職主事 sasaki@eum.ac.jp

教職課程の事務全般：学事部学務 gakumu01@eum.ac.jp

(5) 教職課程に係る各年次の主要行事予定（2023年度）

主な日程は学年暦にも記載されていますが、実施時期について変更が生じる可能性もあります。「イーチ」から配信される連絡を必ず確認してください。

1年次

月	1年次対象の主な行事	2023年
4月	教職オリエンテーション 『教職課程（中・高）履修の手引き』配布 教員採用試験対策講座	4月22日～23日
5月		
6月	広島市未来教師セミナー説明会（学内）	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月	広島県・広島市教員採用候補者試験実施状況等説明会（学内）	
12月		
1月		
2月		
3月	教員採用試験対策講座参加希望アンケート（イーチ） 教職への就職希望動向・教員採用試験受験動向アンケート（イーチ） 教職オリエンテーション 『教職課程（中・高）履修の手引き』配布	

2年次

月	2年次対象の主な行事	2023年
4月	教員採用試験対策講座	4月22日～23日
5月		
6月		
7月	教員採用試験	～9月頃 広島県・広島市 第1次 7月15日～16日 第2次 8月18日～20日
8月		
9月	教員採用試験受験状況アンケート（イーチ）	9月末
10月	教育職員免許状申請 説明会	10月2日 13:00-13:30
11月	広島市臨時的任用教員採用試験説明会（学内）	
12月		
1月	教職への就職状況アンケート（イーチ）	
2月		
3月	教育職員免許状交付	3月11日（修了式後）

※一括申請の手続きを行った場合、**教員免許の交付日は修了式の日付**です。

II. 教職課程の履修

(1) 本学大学院において取得可能な教育職員免許状

本学の大学院修士課程において取得可能な教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりです。

大学院において取得可能な教育職員免許状の種類及び免許教科

学科	免許状の種類	免許教科
大学院音楽研究科	中学校教諭専修免許状	音楽
	高等学校教諭専修免許状	音楽

(2) 教育職員専修免許状取得の条件

一種免許状を有する者が、修士号等の基礎資格を得るとともに、各専攻で定められた科目（『学生便覧』87～88頁）から、24単位以上を修得してください。

『学生便覧』（86頁）

教育職員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数
		教科及び教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	59
高等学校教諭一種免許状		59
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること *注	83
高等学校教諭専修免許状		83

*注「修士の学位を有すること」には、文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認めた場合を含むものとする。

『学生便覧』(87～88頁)

音楽学専攻

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
主 要 学 科 目	音楽創作研究	12	関 連 学 科 目	楽書講読Ⅰ	2
	指揮研究	12		楽書講読Ⅱ	2
	音楽学研究	12		音楽執筆法研究Ⅰ	2
	音楽教育学研究	12		音楽執筆法研究Ⅱ	2
	作曲理論Ⅰ	2		音楽芸術思想Ⅰ	2
	作曲理論Ⅱ	2		音楽芸術思想Ⅱ	2
	曲種研究Ⅰ	2		西洋音楽史特講Ⅰ	2
	曲種研究Ⅱ	2		西洋音楽史特講Ⅱ	2
	音楽美学研究Ⅰ	2		楽曲分析Ⅰ	2
	音楽美学研究Ⅱ	2		楽曲分析Ⅱ	2
	音楽史学研究Ⅰ	2		ソニックラボラトリーⅠ	2
	音楽史学研究Ⅱ	2		ソニックラボラトリーⅡ	2
	応用音楽学研究Ⅰ	2			
	応用音楽学研究Ⅱ	2			
	音楽教育内容論Ⅰ	2			
	音楽教育内容論Ⅱ	2			
音楽教育文献研究Ⅰ	2				
音楽教育文献研究Ⅱ	2				

宗教音楽学専攻

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
主 要 学 科 目	宗教音楽学研究	12	関 連 学 科 目	楽書講読Ⅰ	2
	宗教声楽研究	12		楽書講読Ⅱ	2
	オルガン演奏研究	12		音楽執筆法研究Ⅰ	2
	宗教音楽史研究Ⅰ	2		音楽執筆法研究Ⅱ	2
	宗教音楽史研究Ⅱ	2		音楽芸術思想Ⅰ	2
	典礼音楽研究Ⅰ	2		音楽芸術思想Ⅱ	2
	典礼音楽研究Ⅱ	2		西洋音楽史特講Ⅰ	2
	朗唱法研究Ⅰ	2		西洋音楽史特講Ⅱ	2
	朗唱法研究Ⅱ	2		楽曲分析Ⅰ	2
	オルガン楽曲研究Ⅰ	2		楽曲分析Ⅱ	2
	オルガン楽曲研究Ⅱ	2		ソニックラボラトリーⅠ	2
	オルガン即興演奏Ⅰ	2		ソニックラボラトリーⅡ	2
	オルガン即興演奏Ⅱ	2			
	通奏低音Ⅰ	2			
	通奏低音Ⅱ	2			

声乐専攻

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
主 要 学 科 目	声乐演奏研究	12	関 連 学 科 目	楽書講読Ⅰ	2
	声乐演奏理論Ⅰ	2		楽書講読Ⅱ	2
	声乐演奏理論Ⅱ	2		音楽執筆法研究Ⅰ	2
	歌曲研究Ⅰ	2		音楽執筆法研究Ⅱ	2
	歌曲研究Ⅱ	2		音楽芸術思想Ⅰ	2
	オペラ研究Ⅰ	2		音楽芸術思想Ⅱ	2
	オペラ研究Ⅱ	2		西洋音楽史特講Ⅰ	2
	声乐アンサンブル研究Ⅰ	2		西洋音楽史特講Ⅱ	2
	声乐アンサンブル研究Ⅱ	2		楽曲分析Ⅰ	2
	声乐楽曲研究Ⅰ	2		楽曲分析Ⅱ	2
	声乐楽曲研究Ⅱ	2		ソニックラボラトリーⅠ	2
	声乐演奏解釈研究Ⅰ	2		ソニックラボラトリーⅡ	2
	声乐演奏解釈研究Ⅱ	2			

器楽専攻

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
主 要 学 科 目	鍵盤楽器演奏研究	12	関 連 学 科 目	楽書講読Ⅰ	2
	弦楽器演奏研究	12		楽書講読Ⅱ	2
	管打楽器演奏研究	12		音楽執筆法研究Ⅰ	2
	鍵盤楽器楽曲研究Ⅰ	2		音楽執筆法研究Ⅱ	2
	鍵盤楽器楽曲研究Ⅱ	2		音楽芸術思想Ⅰ	2
	鍵盤楽器重奏研究Ⅰ	2		音楽芸術思想Ⅱ	2
	鍵盤楽器重奏研究Ⅱ	2		西洋音楽史特講Ⅰ	2
	鍵盤楽器室内楽Ⅰ	2		西洋音楽史特講Ⅱ	2
	鍵盤楽器室内楽Ⅱ	2		楽曲分析Ⅰ	2
	伴奏法Ⅰ	2		楽曲分析Ⅱ	2
	伴奏法Ⅱ	2		ソニックラボラトリーⅠ	2
	弦楽器楽曲研究Ⅰ	2		ソニックラボラトリーⅡ	2
	弦楽器楽曲研究Ⅱ	2			
	弦楽器演奏理論Ⅰ	2			
	弦楽器演奏理論Ⅱ	2			
	管楽器楽曲研究Ⅰ	2			
	管楽器楽曲研究Ⅱ	2			
	管打楽器演奏理論Ⅰ	2			
	管打楽器演奏理論Ⅱ	2			
	打楽器楽曲研究Ⅰ	2			
	打楽器楽曲研究Ⅱ	2			
	管弦打楽器演奏解釈研究Ⅰ	2			
	管弦打楽器演奏解釈研究Ⅱ	2			

(3) 履修上の注意

大学院に入学し、一種免許状取得のために、学部の教職に関する科目を履修することはできません。

(4) 履修費用と履修手続き

教職課程履修に当たって、特別な費用は発生しません。履修手続きについては教職オリエンテーションで説明します。

(5) 教育職員免許状申請

2年次の10月に教育職員免許状一括申請に関する説明会を実施します。必ず参加してください。出席しなかった場合、一括申請ではなく、個人申請となります。

III. 教職キャリア支援

(1) 教員採用試験等（公立・私立）

公立学校の教員採用試験（通称：教採）は、6月以降から9月にかけて、都道府県毎に毎年実施されています。試験内容はそれぞれ異なりますので、インターネットをとおして常に情報収集をしておくことをお勧めします。広島県・広島市に関しては、**広島県教育委員会ホームページ**をチェックしましょう。また2024年度以降、試験実施時期の前倒しも予定されていますので、ニュース等の情報に日頃からアクセスする習慣を身につけましょう。

私立学校の教員採用試験は、学校毎に実施時期が異なります。各学校のホームページ内にある「教員採用情報」等をチェックする他、広島県内の私立学校採用情報は**教員採用.jp**等をとおして得ることができます。

なお、学内では3号館3階と本館2階に「教職掲示板」も設置しており、そちらにも各種情報を掲示していますので、活用してください。

広島県教育委員会ホームページ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/04file/>

教員採用.jp

<https://kyoin-saiyo.jp>

公立学校教員採用候補者選考試験における大学等推薦特別選考

教員採用試験について、大学推薦枠を設置している自治体があります。詳細は各自治体の採用情報を確認してください。本学からの推薦を希望する場合は、自治体の設定している条件に加えて、下記の学内推薦要件を満たす必要があります。詳細は教養・教職主事まで問い合わせてください。最終的に、提出された書類と教養・教職主事等による面談によって、推薦の有無が判断されます。

大学等推薦特別選考における学内推薦要件

①	3年次通年 GPA が 3.0 以上であること。
②	学生生活が他の学生の模範となるものであり、学校行事等への参加も積極的であること。

(2) 学校支援ボランティア、プレ・インターンシップ、教職学習室

本学では、教職を強く志望する方を対象に、学校支援ボランティアやプレ・インターンシップへの参加を支援しています。興味・関心のある方は、小松先生に相談してください。

広島市教育委員会「大学生による学校支援活動」

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/education/16820.html>

また本館2階には、教員採用試験対策の学習を行うための静かな環境として、教職学習室(209)を設置しています。扉に貼ってある使用記録に記入の上、利用してください。

(3) 教員採用試験対策

本学では毎年(4月から5月を予定)、教員採用試験対策特別講座を提供しています。詳細は3月のオリエンテーション期間にお知らせします。対象は2年次から4年次の教職課程履修者です。奮って参加してください。以下は、2023年度の予定表です。

2023年度 教員採用試験「教職教養対策講座」講座日程(予定)

月	日	曜日	1限 (9:30~11:00)	2限 (11:25~12:55)	3限 (14:00~15:30)	4限 (15:40~17:10)
4	22	土	×	×	学習指導要領	学習指導要領
	23	日	生徒指導	特別支援教育	教育原理	教育法規

場所：332

また、教員採用試験の1次合格者には、経験豊富な教授陣が2次試験に向けたフォローを個別に行います。2次試験の実技試験の内容は各自治体によって異なります。特に和楽器やピアノ、声楽の実技等については予め把握し、早めに福原先生・小松先生に相談してください。